

市民が池田市の魅力をレポートする
“市民記者”として、地元・池田の
情報を発信します。

今月の市民記者
仲田 敦子さん

今年から市民記者に参加。リハビリ病院に勤務し、本を読むのが好き。池田の魅力を作り出すさまざまな人たちの声を伝えていきます。



取材先

石橋小学校区の見守り活動

見守り活動で深まる住民と児童との絆



ボランティアの方による見守り活動

「おはようございます。いってらっしゃいーそこ、気をつけてね」

午前8時前、集団登校の児童が、井口堂の交差点を渡っています。じりじりと照りつける日差しの中、旗を手におそろいの赤いベストを着た大人たちの声が響きます。

今から20年前、胸がしめつけられるような事件のあと、全国で多くの地域住民が小学校登校時の見守りを開始しました。今回取材し

た石橋小学校区では、特に交通量の多い8つのポイントで活動をしています。

なかにはすごいスピードで自転車が駆け抜けていく場面も見られました。そのたびに見守りの方は、子どもたちにひと声かけ、安全を確かめてから歩くように誘導します。見通しが悪い路地ではどこからどんなことが起きるか、子どもには予測が難しいので、それを補うのが大人です。

この日は近くで住宅建設がありました。鉄柱が運ばれ、子どもたちにはぶつかる危険性があります。その時はスクールガードリーダー（校門警備の方）も事前に現場責任者に配慮を求め、警備を分担しつつ、作業車のそばを通る児童の誘導をするという細やかさでした。

そして下校時は、PTAの方による見守りです。登校時と同様、保護者の方がポイントごとに立ち、子どもたちを見守ります。

鈴木恭太校長も「本当にありがたいです」と言います。

大人たちによる見守りが、交通事故防止だけでなく、夕暮れ時の不審者対策にもなります。先生方も運動靴をはき、いざという時に助けを呼べるようホイッスル付きの名札をつけています。「これからも、子どもの安全を守ることを大切にしていきたい」と鈴木校長。

見守り活動に対し、石橋小学校では感謝を伝える「感謝の集い」をしてきました。今は実施できず、代わりに校門周辺に手書きのメッセージが貼られました。



取材当時、校門周辺には「大雨のときも、風がひどいときも見守ってくれてありがとうございます」などの言葉が並びました。

しんどい時もあるでしょうが、見守りをされている方は「楽しい、元気をもらえる」と笑顔を見せます。子どもが困っている様子があると声をかけられるような存在でしようか。

今日もあなたにかさに包まれないから、子どもたちは元気に登校しています。

お問い合わせ

連絡先
石橋小学校 ☎761・8500